

# 赤十字 NEWS

NOVEMBER 2019  
NO.954 **11**

令和元年11月1日(毎月1日発行)  
赤十字新聞 第954号  
昭和24年9月30日 第三種郵便物認可

<http://www.jrc.or.jp>



支援を届ける

令和元年台風第19号災害

©Atsushi Shibuya/JRCS(P.1~2, P.4)

濁流にのまれ、横転した車。2階のベランダが庭に崩れ落ちた家。氾濫した千曲川の爪痕(長野市穂保地区)

10月12日に日本へ上陸し、関東甲信・東北地方などで猛威を振るった台風第19号。  
大雨による河川の越水や堤防の決壊などにより浸水被害が相次ぎ、多くの自治体で災害救助法が適用されました。  
この甚大な被害に対し、日本赤十字社はただちに医療救護班を派遣、  
また、救急セットや安眠セットなど多数の救援物資を被災地へ届けています。  
今なお苦しんでいる人々が待つ被災地で、日赤は支援活動を続けていきます。

## CONTENTS

**FEATURE\_\_2-4**  
台風第19号  
災害支援活動

赤井十子さんの  
ワクワク赤十字体験！  
海外で難民・避難民の  
健康を守るお仕事

健康豆知識「予防接種」  
**WORLD NEWS\_\_8**  
バハマ・ハリケーン災害  
1枚の写真から  
バヌアツ  
お母さんの温かさ

**TOPICS\_\_5**  
家にある豆腐で作れる！  
「備えるごはん」

**AREA NEWS\_\_6・7**  
福島/山形/群馬/埼玉/神奈川/静岡/  
長野/北海道/広島/福岡/宮崎



赤十字新聞 編集・発行/日本赤十字社 広報室  
〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3  
TEL: 03-3438-1311  
一部 20 円  
赤十字新聞の購読料は会費に含まれています。

人間を救うのは、人間だ。

 **日本赤十字社**  
Japanese Red Cross Society



医師・看護師・薬剤師・事務職が力を合わせ、入居者の安全を最優先に搬送した

# 「決壊」、そして最弱者が取り残された

## 〈令和元年台風第19号災害〉日赤救護班活動記録

千曲川の氾濫で、高齢者医療介護施設の1階が水没。自力避難できない要介護の高齢者278人と施設職員が、電気・水道のライフラインが止まった施設内に取り残されました。日本赤十字社 救護班員は厳しい条件の中、10月14日から3日間、昼は救助・搬送、夜は泊まり込みで見守りを続けました。

### 水没・停電で機能停止した施設。自力避難できない高齢者278人を一刻も早く安全に救い出すために

10月13日早朝、千曲川から氾濫した水は、川から3キロ離れた高齢者医療介護施設「豊野清風園」に到達し、1階部分を水没させました。当時、施設にいた278人の高齢者と介護職員は3階より上に避難して全員無事でしたが、医療を必要とする急性期の患者も多数おり、停電・断水した施設から一刻も早く安全な場所に移動させる必要がありました。

#### 1日目(10月14日)：搬送者数 134人

9：00～16：00 ・水が引き、搬送可能との連絡を受け、施設へ急行  
・DMATと連携し、症状の重い患者から順次搬送を開始  
16：00～翌9：00 ・富山赤十字病院救護班員による泊まり込みでの見守り

#### 2日目(10月15日)：搬送者数 78人

9：00～16：00 ・引き続き施設内での救助・移送先への救急搬送  
・衛生環境の悪化に伴い、施設内の清掃等も行う  
16：00～翌9：00 ・安曇野赤十字病院(長野)の救護班員による泊まり込みでの見守り

#### 3日目(10月16日)：搬送者数 49人

9：00～16：00 ・引き続き施設内での救助・移送先への救急搬送  
16：00 ・搬送完了

残り17人は施設のライフライン復旧の見込みが立ったため施設に留まることとなった。

### 「救える命を確実に救いたい」

泥まみれとなった劣悪な環境のなか、入居者たちの体力も3日目には限界にさしかかっていました。救護班員の一人は、「救える命を確実に救う、そのために最後まで諦めず、最善を尽くすのは救護活動の本質であるし、赤十字精神そのものだと思う」と語りました。



荒れ果てた施設内には、泥にまみれた車椅子や機材が散乱していた



搬送を待つ間「あと少しの辛抱だよ」と介護職員に励まされる入居者



救急車で待ち受ける看護師。迅速に一人でも多く搬送したい

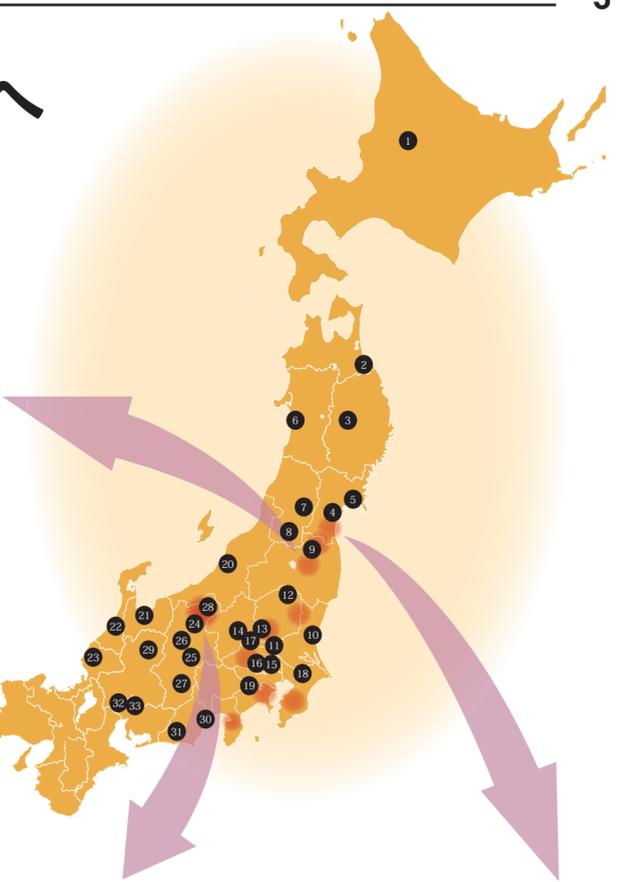
# 全国の支援が被災地へ

## 日赤は救援物資配布、医療救護班を各地へ派遣

日赤は避難所を中心に救援物資を配布した他、21支部33病院から救護班を派遣し、被災地域の方々の安全と健康を守る活動を行いました。被災地の生活が1日も早く再建できるよう、今後も支援を続けてまいります。



【福島】 要介護の夫と共に救出された女性。避難所で救護班の診察を受けホッとした様子



### 【配布した救援物資】

- 緊急セット 3171 セット
- 安眠セット 2268 セット
- 毛布 1万 6050 枚 ほか

### 【派遣した日赤医療救護班】

- 日赤医療救護班 約810人 135班
- ※1つの救護班：6人(医師1人、看護師3人、主事2人)を標準とした場合の概算
- ※日赤DMATとして活動した日赤チームを含む累計

10月28日現在



【長野】 泥清掃のボランティアに申し訳ないと一緒に働いて腰を痛めた避難者に「無理しないで」と救護員



【宮城】 備蓄倉庫から救援物資の運び出しをする宮城県支部職員。日赤各都道府県支部では物資を備蓄している

## 21支部 33病院 医療救護班・こころのケア班を派遣【日赤支部(病院名)→派遣先】

10月28日現在

北海道支部(1)旭川)→宮城県 青森県支部(2)八戸)→宮城県 岩手県支部(3)盛岡)→宮城県 宮城県支部(4)仙台、5)石巻)→県内 秋田県支部(6)秋田)→宮城県 山形県支部(7)北村山公立病院\*、8)米沢市立病院\*)→宮城県、福島県 福島県支部(9)福島)→県内 茨城県支部(10)水戸、11)古河)→県内 栃木県支部(12)那須、13)足利)→県内 群馬県支部(14)前橋)→福島県 埼玉県支部(15)さいたま、16)小川、17)深谷)→県内 千葉県支部(18)成田)→県内 神奈川県支部(19)相模原)→福島県 新潟県支部(20)長岡)→長野県、福島県 富山県支部(21)富山)→長野県 石川県支部(22)金沢)→長野県 福井県支部(23)福井)→長野県 長野県支部(24)長野、25)諏訪、26)安曇野、27)下伊那、28)飯山)→県内 岐阜県支部(29)高山)→長野県 静岡県支部(30)静岡、31)浜松)→県内 愛知県支部(32)名古屋第一、33)名古屋第二)→長野県 \*7)山形県内に赤十字病院がないため、協定を結んでいる県内病院に派遣を依頼

## 「力になりたい」赤十字奉仕団も活動

発災直後から各地で活動を開始した赤十字ボランティア。その一部をご紹介します。



長野



群馬



宮城

長野県では約150人が身を寄せた避難所で長野市赤十字奉仕団が活動。食事の配布、清掃など、避難所の生活をサポートし、被災者の心に寄り添う活動を続けました。

群馬県では台風が去った10月13日、赤十字飛行隊群馬支隊とそのサポートを行う飛行隊支援奉仕団が出動、無線赤十字奉仕団と連携して上空から被害状況の調査を行いました。

宮城県の丸森町では、防災ボランティアが救援物資の配送や、宮城県医師会が手配した段ボールベッドの組み立てなどを、日赤職員と協力して行いました。



再建を目指し店舗の清掃を行う石原さん



人の頭の高さを越える位置にまで泥水の跡が残る室内

**昭和25年から守り続けた家業  
「全部、使えなくなったよ」  
片付けの手を止めず、男性は語った**

千曲川の堤防が決壊、氾濫する川の水の直撃を受けた長野市豊野。石原益夫さん(81)は親子2代・約70年にわたり豊野で青果店を営んでいました。10月12日、避難警報が出るとすぐに、家族と避難所へ。警報が解除され、家に戻った石原さんの目に飛び込んできたのは、津波に襲われたような無残な街の姿と、1階の天井近くまで浸水して泥だらけになった自宅兼店舗でした。「商売のものは、どれももう使えなくなったからさ、また取り寄せないとね」。気丈に笑みを浮かべながら、そう語る石原さんは、周囲の助けも借りながらゼロからの再出発を目指しています。

## それでも立ち上がる

〈台風第19号災害〉長野県千曲川氾濫  
「被災者の声」

**秋祭りの日。氾濫した川は  
町の鎮守「守田神社」を  
跡形もなく押し流した**

長野市穂保地区に鎮座する「守田神社」。この神社を守る氏子の総代を務めていた小山田昌秀さん(59)は避難所のテレビで千曲川の堤防が決壊した映像を目にし、息をのみました。決壊した場所は、守田神社のすぐ裏。上空からの映像には、千曲川から流れ込む濁流が映っているものの、神社の姿は跡形もなく…。くしくも、台風が直撃した13日は秋祭(例大祭)を予定していた日。その前夜、小山田さんは台風が近づく中、一人で守田神社の前夜祭(宵祭)準備をし、本殿の中で神様に手を合わせてから、避難所に向かいました。堤防の決壊は、その数時間後のことでした。「本殿はおろか、鳥居まですべて流されるなんて。あまりのことに言葉を失いました。穂保は高齢者の多い地区です。ここまで荒らされてしまうと高齢者はもう住めないのではないかと。神社の再建も難しいと感じています。私を含め、この地区の住民は自宅や暮らしの復旧がまず最優先ですから…」と、小山田さんは神社の跡地を見つめ、自らに言い聞かせるように語りました。



守田神社の名を刻んだ石碑と参道だけが残った



小山田さんの自宅も床まで浸水。自宅の清掃と復旧作業に追われる中、神社の「跡」をその目で確かめに来た

TOPICS

# 南極料理人 監修 停電、断水、そんな時の“防災レシピ” 家にある豆腐で作れる! 「備えるごはん」

先月、名古屋市で行われた「ぼうさいこくたい2019」。日赤のワークショップでご紹介した“防災レシピ”は、南極料理人 西村淳さんが監修したもの。栄養の偏りやすい災害時こそ、たんぱく質やミネラルの取れる健康食材「豆腐」を使って、元気に乗り越えましょう!

## 豆腐クリームと ビスケットの簡単スイーツ



【材 料】2人分  
豆腐 1/2丁  
はちみつ 15g  
インスタントコーヒー 大さじ1  
水(湯) 大さじ1  
ビスケット 6枚

【作り方】①インスタントコーヒーをペットボトルの水で溶きます(お湯があるならお湯を使用)。②豆腐は水気をしっかり切り、はちみつを加えて混ぜ合わせます(豆腐はキッチンペーパーに包んで重しを載せるとしっかりと水切りできます。ビニール袋に入れて混ぜれば手や皿を汚しません)。③ビスケットの両面を①のコーヒー液にひたし、②と交互に重ねます。④お好みではちみつ(分量外)をかけて仕上げます。

## 豆腐とふりかけの こんがり焼き



【材 料】2人分  
豆腐 1丁  
片栗粉 大さじ2  
ふりかけ 10g  
ごま油 適量

【作り方】①ビニール袋の中でふりかけと片栗粉を混ぜ合わせます。②豆腐は食べやすい大きさに切り、①の袋の中でまぶします。③フライパンにごま油を熱し、②をこんがりと焼いて器に盛り付けます。

常温で約7カ月保存できる豆腐もあります。缶詰、レトルト食品といっしょに備蓄するのもいいですね!



“南極料理人”  
西村淳さん

南極越冬隊に調理師として2回参加。平均気温がマイナス57℃、ウイルスすら存在しない過酷な環境で「越冬」する隊員を支えるため、創意工夫を凝らした料理を提供しました。

写真・レシピ提供:森永乳業

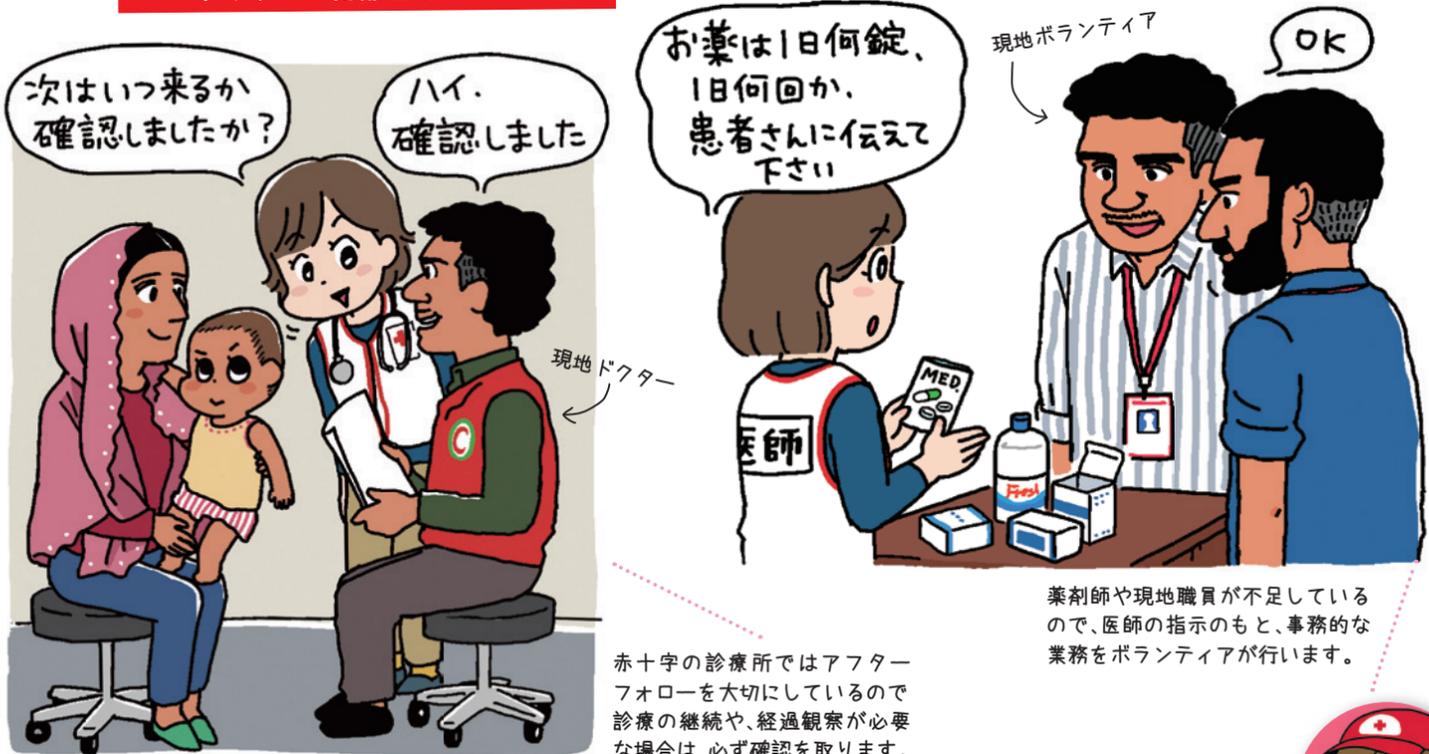


「ぼうさいこくたい2019」でも紹介した「常温保存可能 絹ごしとうふ」(提供:森永乳業)を読者プレゼント! 詳しくはP7に。

# 赤井十子さんの ワーク体験

## vol.6 海外で難民・避難民の健康を守るお仕事

取材場所  
Bangladesh 南部避難民キャンプ



赤十字の診療所ではアフターフォローを大切にしているので診療の継続や、経過観察が必要な場合は、必ず確認を取ります。

薬剤師や現地職員が不足しているので、医師の指示のもと、事務的な業務をボランティアが行います。

### 日赤の支援が終わっても、現地の人々の力で活動が継続できるように、指導を行う

2017年8月以降、ミャンマーから74万人以上が避難しているBangladesh。日赤は、同年9月からBangladesh南部の避難民キャンプに医師・看護師・助産師・こころのケア要員などの医療チームを延べ153人以上派遣、7万5000人を診療し、6万5000人に「こころのケア」を提供してきました。現在の日赤の役目は、Bangladesh赤新月社の医療スタッフへのアドバイスやサポート、そしてボランティアへの指導です。避難民キャンプのボランティアは、彼ら自身も避難民であり、診療所の運営に欠かせない存在です。現地の人々が自分たちの力で、健康で安心安全な生活を送れるよう、彼らのコミュニティの力を向上させることが、日赤の支援の目標です。



あかいとこ  
赤井十子さん。  
困っている人の役に立ちたい40代のママ。1年間のボランティア経験を経て、日本赤十字社の特命職員に!さまざまな活動をわかりやすく体験レポートします。

# AREA NEWS

全国各地、あなたの生活のすぐそばで、日本赤十字社の活動は行われています。

## 群馬県

### 「誰かのために」奉仕活動に終息なし 群馬県奉仕団が創立70周年を迎える

9月20日、日赤群馬県支部は「群馬県赤十字奉仕団創立70周年記念式典」を開催。県内各地から奉仕団員が集まり、功労表彰や活動事例発表を行いました。昨年はかつて消滅した地域奉仕団が復活するなど、新たな活動の芽吹きも。困っている誰かのため・地域のための活動には、「完成」も「終息」もありません。赤十字奉仕団の活動はこれからも続いていきます。



「赤十字精神の下、心新たに活動していく」と語る松本雅子委員長

「知ってて良かった!健康豆知識」は切り取って保存していただけます

日赤のドクター&ナースが教える  
知ってて良かった!

## 健康豆知識



### 海外旅行が決まったら…旅行準備で「予防接種」を!

大分赤十字病院 小児科医師 阿南 亜紀 (あな あき)  
大分県大分市千代町3丁目2-37 TEL: 097-532-6181

格安航空会社の登場もあり、海外旅行は身近なものになりました。しかし、海外に行かれる方にぜひ知っていただきたいのが「渡航前の予防接種」の大切さ。海外では「狂犬病」「破傷風」「黄熱」など、現代の日本では珍しい感染症と接触する可能性があります。その中でとくに心配なのが「麻疹(はしか)」です。

海外渡航の予防接種では、国ごとに注意すべき感染症が異なるため、渡航先を聞いてから接種するものを決めます。しかし、どの国でも感染する危険性があるのが麻疹。麻疹の感染力はインフルエンザの10倍、マスク・手洗いなどでは防げず、肺炎を合併したり、重篤化すると3~4割の確率で流産・早産・死産が起こります。

麻疹の感染予防にはワクチンを2回接種するのが有効ですが、ワクチン接種を受けていなくても麻疹にかかったことがあれば免疫はあります。麻疹ワクチンの接種は、生まれた年代によって予防接種の経歴が異なるため、免疫を獲得できていない可能性もあります。麻疹にかかった記憶がなく、母子手帳などで接種の記録を確認することができなければ、ワクチン接種を検討しましょう。予防接種を過去に受けたことがあっても、再び接種することは可能です。ただしワクチンによっては期間をあけて3回接種するものもあり、半年前くらいから接種の計画を立てることが理想的です。「海外旅行が決まったら、予防接種も準備の1つ」。これから海外旅行を楽しむための健康豆知識です。



予防接種は、余裕をもって旅行の半年前に受け、記録を残しましょう。何のワクチンを接種したか記録が大切です!

file. 61

## 福島県

### 英国赤十字社の計らいで 金メダリストが福島の小中学生と交流

10月8日、原発事故により避難を続ける富岡町立小中学校三春校(JRC\*加盟校)を、世界陸上2019の金メダリストのカテリーナ・J・トンプソンら3選手が訪問。子どもたちは、選手たちと一緒に鬼ごっこなどで交流、選手それぞれから専攻競技のコツを教わりました。世界のトップ選手と触れあった子どもたちは「選手たちをオリンピックでも応援したい!」と楽しそうでした。



この交流は英国赤十字社による復興支援の一環で行われた \*JRC=青少年赤十字

## 山形県

### 芋煮がつなぐ8年目の絆 東日本大震災の被災地で炊き出し

9月23日、日赤山形県支部の赤十字ボランティアが、宮城県気仙沼市で毎年恒例となった催しを開催。山形名物の芋煮や山形産ブドウなどを振る舞い、輪投げ大会などレクリエーションを企画するなど、被災地の方々と心温まる交流を図りました。いまだに道路などのインフラが整備途中、商業施設も少なく、復興の途上にある地域に大きな笑い声と笑顔が広がりました。



「赤十字の方と芋煮を食べながら交流するのが楽しみ」と地区住民

## 静岡県

### 災害対応能力の強化を図り 各地で実施された救護活動訓練

この秋、日赤の各支部でさまざまな災害訓練が行われています。9月16日、静岡県支部と浜松赤十字病院は同院を会場に、マグニチュード8.0の地震を想定した災害救護訓練を実施し、地元の関係機関を含む380人が参加しました。また、長野県支部では9月26・27日、長野赤十字看護専門学校で災害看護論を学んできた3年生37人が、本格的な災害演習に取り組みしました。



「冷静に対処できるよう備えたい」と看護専門学校の学生(長野)

## 北海道

### 献血絵本の読み聞かせイベント 親子で楽しく「初めまして、献血」

10月12日、札幌で親子向けイベント「献血つながりプロジェクト みんなの献血『ゆうなちゃんのおみんでつながろう。』」が開催されました。幼児番組で人気を博したゆうなちゃん(杉山優奈さん)が登場すると会場は大盛り上がり。日赤オリジナルの献血絵本の読み聞かせコーナーでは、小さな子どもとその保護者にも献血の重要性を楽しみながら知ってもらう機会となりました。



たくさん親子連れ来場者と記念撮影するゆうなちゃん(前列左)

## 常任理事会開催報告

令和元年10月24日、本社において令和元年度第6回の常任理事会が開催されました。  
1. 予算の補正について (東京都支部所有地の地下構造物撤去工事にかかる予算の補正)  
審議の結果、原案のとおり議決されました。  
また、令和元年台風第19号にかかる日本赤十字社の対応、地域医療構想~役割再検証の要請について~、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にかかる日本赤十字社の取り組み等、予算の補正にかかる9月分の社長専決事項等について、それぞれ報告しました。

## present プレゼント

### 常温保存できる豆腐

1ケース(290g×12個セット)

30名さまにプレゼント!



森永乳業から「ぼうさいこくたい2019」で提供された、保存料不使用なのに、常温で約7カ月の長期保存ができる豆腐です。森永乳業30周年を記念して30名さまに。

希望者は、以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・メールでご応募ください。

- ①お名前 (匿名希望の方は、その旨をご記入ください)
- ②郵便番号・ご住所 ③電話番号 ④年齢
- ⑤赤十字NEWS11月号を手に入れた場所(例/献血ルーム)
- ⑥11月号で良かった記事、興味深かった記事はどれですか?  
(いくつでも)  
A.表紙 B.台風第19号災害支援活動  
C.備えるごはん  
D.ワクワク赤十字体験!  
E.エリアニュース  
F.健康豆知識 G.プレゼント  
H.ワールドニュース  
I.1枚の写真から
- ⑦赤十字NEWSのご感想、扱ってほしいテーマ、その他 Voice(読者の声)への投稿もお待ちしております。

郵送/〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3 日本赤十字社 広報室 赤十字NEWS11月号プレゼント係  
FAX / 03-6679-0785 メール/ koho@jrc.or.jp (件名「赤十字NEWS11月号プレゼント係」)  
11月29日(金)必着  
※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます

## 宮崎県

## 広島県

## 長野県

## 福岡県

### 毎年9月の「世界救急法の日」全国各地で多彩なイベントを実施

9月の第2土曜日に定められている「世界救急法の日」にあわせて、全国各地の日赤支部でイベントが開催されました。

宮崎県支部ではイオンモール都城駅前店で救急法や献血の普及・啓発イベントを実施。「○×クイズ大会」といった親子連れにも親しみやすい内容で救急法などをアピールしました。広島県支部は広島県赤十字血液センターで「赤十字

フェスティンひろしま2019」を開催し、700人超の来場者がミニ講習などに参加。長野県支部の「第25回長野県赤十字救急法大会」には、県内の赤十字奉仕団や消防団など36チーム121人が出場しました。福岡県支部は救急法普及のためのイベント「World First Aid Day 2019」をイオン乙金ショッピングセンターで開催。AEDによる救急法などの体験講習を行いました。



宮崎県



広島県



長野県



福岡県

(宮崎)都城PR部長「ぼんちくん」も心肺蘇生にチャレンジ! (広島)赤十字フェスタではパルーンアートが大人気

## 災害義援金、受け付け中

9月からの度重なる台風災害により、各地に甚大な被害が生じております。この災害で被災された方々を支援するため、下記の通り義援金を受け付けております。お寄せいただいた義援金は、全額を被災地にお届けいたします。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。



©Atsushi Shibuya / JRCS

- ①令和元年台風第15号千葉県災害 (受付期間) 令和元年9月18日(水) ~ 令和元年12月30日(月)
- 2. 令和元年台風第15号東京都 (受付期間) 令和元年9月30日(月) ~ 令和元年11月30日(土)
- 3. 令和元年台風第19号災害 (受付期間) 令和元年10月16日(水) ~ 令和2年3月31日(火)

### 協力方法:

#### [1] 郵便振替によるご協力 (ゆうちょ銀行・郵便局)

- ①令和元年台風第15号千葉県災害義援金  
口座記号番号 00100-8-451648  
口座加入者名 日赤令和元年台風第15号千葉県災害義援金
- ②令和元年台風第15号東京都義援金  
口座記号番号 00190-5-487603  
口座加入者名 日赤令和元年台風第15号東京都義援金
- ③令和元年台風第19号災害義援金  
口座記号番号 00190-8-515005  
口座加入者名 日赤令和元年台風第19号災害義援金

※ゆうちょ銀行の振込用紙の半券を受領証の代わりとして、寄附金控除の申請にお使いいただけます。  
※窓口でのお振り込みの場合は、振込手数料が免除されます (ATMによる通常振り込みおよびゆうちょダイレクトをご利用の場合は、所定の振込手数料がかかります)

#### [2] 銀行振り込みによるご協力

①三菱UFJ銀行、②三井住友銀行、③みずほ銀行へ振り込み可能です。詳しくは右下のQRコードのホームページからご確認ください。

#### [3] 各義援金は被災県支部でも受け付けています。日赤各県支部にお問い合わせいただくか日赤ホームページをご覧ください。

日赤 国内義援金

検索

詳しくは日赤のホームページ



# WORLD NEWS

## バハマ・ハリケーン災害



ハリケーン上陸時は、最大級となる「カテゴリー5」の勢力に

## 世界屈指のリゾート地・バハマにハリケーン上陸

8月下旬に発生した熱帯低気圧が威力を増し、巨大ハリケーンとなってカリブ海に浮かぶバハマを直撃、壊滅的被害をもたらしました。

### 迫るハリケーンに感じた命の危機 生後間もない幼い息子を抱えて避難

9月1日にカリブ海の島国バハマを襲ったハリケーン「ドリアン」は、現地に甚大な被害をもたらしました。各地のインフラが寸断し、この災害によっておよそ7万3000人の人々が激しい暴風雨にさらされ、行方不明者の数は一時500人以上に上るとも言われていました。国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)は、8000人を支援対象とした1730万スイスフランの緊急アピールを発表。日赤も400万円の資金援助を行いました。

約700もの島々からなるバハマ国内で、特に壊滅的な被害を受けた地域はアバコ諸島やグランドバハマ島。これらの地域住民の99%が緊急支援が必要な状態でした。アバコ諸島で暮らしていたロヴェンスキーさんとクリスティーナさん夫婦は生後3週間の息子

キーンくんとともにハリケーンに遭遇しました。自宅にハリケーンが近づくと、夫婦は幼い息子を腕の中に抱えて近隣の小学校へと避難。その後、ボートで島を離れた一家は親戚を頼って首都ナッソーに渡り、赤十字から乳幼児セットなどの支援を受けました。

### 赤十字ボランティアたちが 水の配給などで各地を奔走

ライフラインが寸断された被災地の中には、暴風雨の影響で給水施設(水源)が海水や化学物質などで汚染されてしまった地域も。そこで赤十字ボランティアや現地の赤十字スタッフたちは、各地でペットボトルによる飲料水の配給を実施。グランドバハマ島では氷の配布も行いました。氷は飲料水としてだけでなく、食品の腐敗を防ぐという点でも役立ちます。

また、ハリケーン襲来後、何千人もの人々

が住み慣れた土地を離れ、避難所やほかの地域にいる家族のもとに身を寄せているのが実情です。住宅の損壊により住む場所を失った被災者も多く、中長期の住居が課題となっています。赤十字は今後もハリケーン被災者への支援を続けていきます。



ボートへ水を積み込む作業にショッピングカートを使うIFRCのスタッフ



家の外に明かりはなく、夜中にトイレに行くのが一番怖かった。けれど、これがこの村の現状なんだと強く感じた



### バヌアツで感じた“お母さん”の温かさ

8月中旬、私たち青少年赤十字(JRC)のメンバーは海外支援事業の研修に参加し、バヌアツ共和国を訪れました。

バヌアツではメレという村でホームステイを体験。行く前は食事面が不安でしたが、ホストファミリーの“お母さん”が作ってくれた夕食のラップラップ(イモやバナナをすりおろして焼いた現地料理)が想像していたものとは違っておいしかったです。夕食後の食器洗いは、バケツにためた水ですすぐだけ。自分は嫌ではなかったけれど、日本ではなかなか考えられないことです。水などの衛生面による健康被害なども気になりました。

帰国の直前に“お母さん”に言われた「いつでも帰っておいで、あなたは家族だから」という言葉が忘れられません。村の人たちの生活を改善するために私たちは何ができるのか、JRCの活動を通してこれからも考えていきたいです。



語り◎埼玉県立岩槻高等学校2年 荒木 菜那

海外支援事業についてはこちら↑